

2022年表彰事業『学生卒業設計・制作NCF空間ディスプレイアワード』

【表彰事業の対象】

日本全国に所在する大学の2021年度(2022年3月)卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるもの。

注1：大学院生などの修了制作は対象外です

注2：卒業論文については対象外です

【審査対象の区分】（空間ディスプレイ分野の区分）

便宜上、空間ディスプレイ分野を以下の4つに区分し、審査を行うこととします。

I. 商業ディスプレイデザイン

例：ショーウィンドウ、ショップ、レストラン、バー、サイン、グラフィック

II. 生活ディスプレイデザイン

例：住居、集合住宅、学校、公共施設、オフィス、クリニック、病院、インダストリアル

III. エンターテインメント・ディスプレイデザイン

例：美術館・博物館、劇場、ステージ、テーマパーク、アミューズメント施設、イベント、スポーツ施設、公園

IV. 都市ディスプレイデザイン

例：大規模商業施設、都市施設、都市景観、都市インフラ、交通システム、情報システム

注1：複数の区分にまたがる作品については、優先する区分をご判断ください

注2：応募作品の審査過程で、区分の変更をご相談することがあります

【表彰内容】

空間ディスプレイ分野全体に対し審査を行うため、上記区分ごとに表彰件数を定めているものではありません。

NCF空間ディスプレイアワード最優秀賞 賞金40万円×1件

NCF空間ディスプレイアワード優秀賞 賞金25万円×4件程度

NCF空間ディスプレイアワード奨励賞 賞金15万円×4件程度

注1：賞金は、受賞作品の設計・制作者の所属する大学等の研究室などに贈るものとする

注2：各賞に該当するものがない場合は、「受賞者なし」とする

注3：受賞件数については、目安であり、受賞該当数増減の判断は、審査員による

【応募】

(1) エントリー

応募の意思がある方は2022年3月30日昼12時までに財団ホームページから[エントリー](#)をしてください。

(2) 応募期間

2022年4月1日～4月18日 **(学内締切：4月8日)**

応募書類データ送信および郵送物ともに4月18日昼12時必着。

(3) 応募方法

① 応募書類等(返却しません)

a. 推薦応募申請書+コンセプトシート

b. 作品ポートフォリオ
A3ヨコサイズ片面記載3枚以内、応募者名は記入しないでください。

c. 関連資料
作品に関する二次資料（設計・制作の経緯、客観的な評価、掲載資料等）など、
A3ヨコサイズ片面記載3枚以内

注1：卒業制作作品の現物、模型などの提出は受け付けません。

注2：「b.作品ポートフォリオ」には、応募者名は記入しないでください。

②提出方法

次の(ア)(イ)両方による提出をしてください。

(ア)電子ファイル送付

- PDF形式（ZIP圧縮データで送付）
- 提出データのタイトルは、大学名_氏名_表彰の順で明記。

(イ)申請書類送付

- 郵送物は、5セットご用意ください。
- 封筒に、「空間ディスプレイアワード応募」と表記。

※1セットごとにa、b、cの順にホチキス止め、A3ヨコは三つ折りし、クリアホルダーに入れて下さい

③提出時のお願い

申請書類の提出および全般の窓口は、大学事務関係者が行ってください。

(4) 提出先

(ア)電子ファイル送付先info@nomra-cf.jp

(イ)申請書類郵送先

〒135-0091 東京都港区台場2-3-4 一般財団法人乃村文化財団事務局

(5) 応募費用

無料

(6) その他

応募書類およびデータ等の提出物は、返却いたしません。

応募書類に記入された個人情報については、法令および当財団の内部規程に準じ、適切に取扱います。

応募された大学名、作者氏名、応募資料については原則として公開とし、当財団の機関誌及びホームページ上に掲載します。

7. 審査

(1) 審査期間

2022年6月予定

2022年7月に審査結果発表、受賞通知、および授与式

(2) 選考方法

選考委員会による書類審査ののち、理事会で正式に承認されます。

(3) 審査項目・基準

選考審査にあたっては、乃村文化財団の目的および表彰事業の趣旨をふまえて、ディスプレイが、人と人、人と物、人と情報をつなぎ豊かな価値を創造する空間を媒体としたコミュニケーション手段のひとつであることを、具体的な空間デザインにおいて具現化していることを評価したい。そのための評価の視点として以下のような項目に特に注目して評価することとします。

1. 発想の独創性

- 発想力、デザイン力、先進性、意外性、など
2. 空間のインパクト
作品の完成度、訴求力、魅力、話題性、波及効果、影響力、集客力、など
 3. 生活の質の向上
利便性、QOL（クオリティオブライフ）、幸福感、生きがい、文化的価値、ユニバーサルデザイン、安全・安心、など
 4. 社会的な意義
メッセージ性、社会性、歴史性、地域コミュニティづくり、地域活性化、地域防災、経済効果など
 5. 空間ディスプレイの新しい可能性
先端技術の活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）、発展性、拡張性、応用性、技術開発の可能性など

■ 詳細はこちら

乃村文化財団ホームページ<https://www.nomura-cf.jp/>

【乃村文化財団とは】

株式会社乃村工藝社創業者乃村泰資をはじめとする、先人たちによる創意工夫あふれる進取の精神を継承し、多様なコミュニケーション手段を通じてより豊かな未来が実現するよう、ディスプレイのさらなる発展の一翼を担うという志のもと、乃村工藝社創業130周年記念事業の一環として設立されました。

【お問い合わせ】

一般財団法人乃村文化財団

〒135-0091東京都港区台場2-3-4（乃村工藝社本社内代表メールinfo@nomura-cf.jp）